



日  
中  
韓  
の  
茶  
世  
界  
を  
五  
感  
で  
味  
わ  
っ  
て  
み  
ま  
せ  
ん  
か

# 茶界

CHA KAI

**開催日：2019年3月31日（日）**

開催場所：目白庭園 赤鳥庵（豊島区目白3-20-18）

開催時間：第一部 10：15～12：45（開場10：00）

第二部 13：30～16：00（開場13：15）（各部 先着20名）※要事前予約

参加費：1000円（日本茶・中国茶・韓国茶の三席）※当日精算

【申込方法】メール又はFAXで必要事項を添えて、お申込みください。

※詳細は裏面をご覧ください。

【問い合わせ先】

豊島区 文化商工部 文化デザイン課 施策調整グループ  
TEL 03-3981-1476（直通）



～日本・中国・韓国のお茶の世界～

“視る” “聴く” “嗅ぐ” “味わう” “触れる”

お茶を飲むという文化は、三ヶ国それぞれの歴史の中で生まれ、彩られながら受け継がれてきたものです。

それは日常生活のおもてなしの場面ばかりでなく、心身を整えるような場面にも広まりました。

“視る” “聴く” “嗅ぐ” “味わう” “触れる”の五感で三ヶ国のお茶をお楽しみください。



目白庭園

### 日本茶



お茶は平安時代に中国から伝わったといわれています。日本の伝統文化である茶道は桃山時代以降精神性を重んじ相手を思いやる心を大切にするという意味で形つられ今日にいたっております。茶室やお庭の風情、又茶道は目で見、香りを楽しみ、味わうなど五感によるおもてなしです。

今回の日本茶席では、日本の奥深い茶の湯の世界を味わっていただくとともに、茶道体験で心を落ち着かせ、精神を高めます。また、季節の和菓子やお花もお楽しみください。

#### 講師\*江島宗文

豊島区 豊茶華文化連盟理事長  
東京都 茶道華道連盟常任理事

### 中国茶



お茶の起源は中国にあります。中国では地域によって様々なお茶文化が育っており、数千種類とも言われるお茶が楽しまれています。

今回の中国茶席では、最も古いお茶の歴史を持ち、優れた健康効果が期待できる白茶や風邪予防、眼精疲労の解消、頭痛解消、美肌・肌荒れに効くと言われる菊花茶など様々な種類の中国茶をお楽しみいただきます。さらに、味や香りだけでなく、ゆっくりと花が咲く姿が美しい工芸茶もご鑑賞ください。

#### 講師\*鄭燕

中国茶芸師・香藝師  
茶道裏千家・香司 華道小源流  
協力:創世紀株式会社 中国(福建省)駐日本観光推進センター

### 韓国茶



韓国茶は、様々な食材や韓方薬剤を使って入れるお茶で、古くから韓国の人々に親しまれてきた伝統のお茶です。

今回の韓国茶席では、赤い色でほのかな甘みとさわやかな酸味のある、五味茶ティーバッグ作りや試飲を行います。甘味、酸味、苦味、辛味、塩味の5つの味を感じてみてください。さらに、韓国の伝統茶である色鮮やかな花茶の試飲、伝統菓子を味わっていただきます。

#### 講師\*関加(山田玲子)

韓国伝統茶文化研究会・韓国茶文化研究会東京支部代表  
韓国花茶協会 花茶ソムリエ  
ハーブ&エディブルフラワーコーディネーター

### お茶会スケジュール

#### 【第一部】

受付開始 10:00～  
お茶体験 10:15～12:45  
(中国茶・韓国茶→日本茶)

#### 【第二部】

受付開始 13:15～  
お茶体験 13:30～16:00  
(日本茶→中国茶・韓国茶)

### 目白庭園へのアクセス

JR「目白駅」より徒歩約5分  
JR「池袋駅」より徒歩約15分



### お茶会内容(参加費1000円)

#### 日本茶

- ・茶道体験
- ・茶菓子



#### 中国茶

- ・中国茶試飲
- ・工芸茶観賞
- ・茶菓子



#### 韓国茶

- ・五味茶ティーバッグ作り体験・試飲
- ・花茶観賞と試飲
- ・茶菓子



※写真はイメージです。  
※当日、やむを得ない事情により、内容を変更する場合がございます

■申込方法 2019年2月28日(木)午前10時予約開始 ※定員になり次第終了

メール: A0014400@city.toshima.lg.jp FAX: 03-3980-5160

上記スケジュールを確認の上、代表者の氏名、住所、年齢、連絡先(メールアドレスと電話番号)、参加人数(大人〇名、小人〇名)、ご希望の時間帯(第一希望、第二希望、どちらかしか参加できない場合はその旨も)、【件名】に“茶界の申込み”と明記してください。

※細かい作業が伴うため、小学校4年生以上推奨です。  
※会場の構造上、車椅子のまま体験することが出来ません。  
車椅子から降りての移動が必要となります。あらかじめご了承ください。

■東アジア文化都市2019豊島についてはこちら

HP: <https://culturecity-toshima.com>

Twitter: @culturecityTSM Instagram: @culturecitytsm Facebook: @culturecity.toshima

